

安全な食生活を送るために

食中毒予防の徹底を

毎年、全国で多くの食中毒が発生しています。平成21年は全国で1048件、2万249人の患者が報告されました。食中毒は飲食店だけでなく、家庭でも発生することがあるので注意が必要です。今回は食中毒予防のポイントなどを紹介します。



食中毒を防ぐポイントは食中毒菌やウイルスを「付けない・増やさない・殺菌すること」です。

①菌を付けない

調理前や、肉・魚介類・卵を触ったあと、トイレに行ったあとは必ず手を洗いましょ。また、肉・魚介類・卵の調理に使用した調理器具は、食中毒菌やウイルスが付着しているこ

②菌を増やさない

冷蔵・冷凍保存が必要な食品は、購入後すぐに持ち帰って冷蔵・冷凍庫に入れましょ。保存温度は冷蔵で10度以下、冷凍でマイナス15度以下にしましょ。食品を詰め込み過ぎたり、扉を頻繁に開閉すると、庫内の

カンピロバクターに注意

食中毒の原因物質はさまざまですが、細菌であるカンピロバクターによる食中毒が最も多く発生しています。カンピロバクターは、とり・牛などの家畜類等の腸管内に広く分布しています。感染源には、加熱不十分な食肉(特にとり肉や牛の生レバー)、カンピロバクターの付着した調理器具から2次汚染された食品などがあります。特徴は感染してから症状が現れるまでの期間が2日から5日とやや長く、激しい下痢や38度を超える発熱、腹痛、おう吐などの症状が現れることです。また、少ない菌の量で発生します。予防方法として、上記の予防のポイント①から③を徹底してください。

③殺菌する

温度が上がるので注意しましょ。また、調理したものは、時間がたつと菌やウイルスが増えましょ。調理したものはなるべく早く食べるようにしましょ。

みんなの力で地域いきいき



県民交流広場・市民活動コーディネーター事業

1000万円以内

市と県は、「県民交流広場事業」を実施しています。

この事業は、自治会やPTAなどの住民組織による、地域づくりの活動やコミュニティの拠点整備に対して助成金を交付します。ただし、地域内で合意された事業であることが条件です。

地域(原則として小学校区)を舞台にした子育て・防犯・環境などの活動を通じて「元気と安心のコミュニティづくり」に取り組みましょ。詳しくは同広場のホームページ(http://www.kyogo.kouryu-hiroba.jp/)を確認せよ。

申込方法など問合せは市民活動支援課(07988・355・3196)へ。

【助成額】小学校区あたり活動費300万円以内、整備費

男女共同参画社会を目指して 協働事業提案を募集



申込は7月15日まで

市は、男女共同参画センターウエーブ開館10周年記念事業として「協働事業提案」を募集しましょ。

性別に関わりなく、あらゆる分野で個性や能力を発揮できる男女共同参画社会の推進に向けて、市民の皆さんと市が協働して取り組める事業の提案をお待ちしています。

詳しくはウエーブ、市役所本庁舎1階総合案内所横、各支所・市民サービスセンター、アクト西宮ステーションで配布している募集要領をご覧ください。ウエーブのホームページ

(http://www.nishi.or.jp/homepage/wave/)からもダウンロードできます。

【提案方法】募集要領に添付している提案書を郵送かEメールで6月15日～7月15日(郵送の場合消印有効)にウエーブ(〒663-8204高松町4-18)または市役所本庁舎(〒798-649495)へ。持参可

※提案内容は選定委員会審査し、結果を通知しましょ。

全国広報コンクール 映像部門で入選

ビデオを無料で貸し出します

市広報番組が、平成22年全国広報コンクール映像部門において、1席(2位)に入選しました。入選作品は、まるごと市政組で、ケーブルテレビ市広報番組「フロムにのみや」の中で

「絆」みんなで支え合う認知症介護」です。まるごと市政は、市の施策や施設を分かりやすく紹介する番組で、ケーブルテレビ市広報番組「フロムにのみや」の中で

放送しています。入選作品の内容は、実際に認知症の母親を介護する娘を映像で追いつながら介護の現実を描くドキュメンタリーです。一人介護にあたっていた娘が、介護に対し同じ悩みを持つ人が集う場を通じて、介護に対する見方を変えていく様子を紹介しています。

市は、ごみの分別・収集日に配布する冊子「ハローごみ(家庭用保存版)」の広告主を募集します。

広告主を募集

市民への配布物に掲載

市は、ごみの分別・収集日に配布する冊子「ハローごみ(家庭用保存版)」の広告主を募集します。

参加者募集

マンシヨン管理 基礎セミナー

7月10日 プレラホール

市は、分譲マンションの管理組合の役員や区分所有者の皆さんを対象に「マンシヨン管理基礎セミナー」を開催します。マンシヨンライフの未来像をテーマに大学教授などが講演します。受講料無料。定員250人。

【日時・会場】7月10日午後1時からプレラホール

【申込】往復ハガキにマンシヨン名、参加人数、代表者の住所・氏名・電話番号・管理組合の役員または一般区分所有者かを書き、7月2日(必着)までに住宅政策グループ(〒662-8567六湛寺町10-3280798・355・3772)へ。多数の場合人数調整します

休日乳がん検診 実施のお知らせ

市立中央病院は、これまで乳がん検診を毎週木曜の午後実施してきました。このたび、平日受診することが難しい女性のために、土曜日(月1回程度)も実施します。7月24日に行います。その他の日程についてはお問い合わせください。

また、乳がん検診に必要な乳房X線撮影装置を更新しましょ。

市立中央病院(0798・641515)へ。

65歳以上の皆さんへ 介護保険料決定通知書を送付

平成22年度の介護保険料が決定しましたので、6月中旬に、65歳以上の被保険者の皆さんに「介護保険料決定通知書」を送付します。なお、決定通知書の内容説明や納付相談は電話でも受け付けています。

問合せは介護保険グループ(07988・355・3313)へ。

【提供数】1万部以上

【申込】必要書類を6月11日(25日(必着))に行政経営・改善グループ(〒662-8567六湛寺町10-3市役所本庁舎4階07988・355・3660)へ持参か郵送を

※西宮市広告掲載要綱・基準に適合し、提供数の最も多いところを広告主に決定します

ヨシ名、参加人数、代表者の住所・氏名・電話番号・管理組合の役員または一般区分所有者かを書き、7月2日(必着)までに住宅政策グループ(〒662-8567六湛寺町10-3280798・355・3772)へ。多数の場合人数調整します